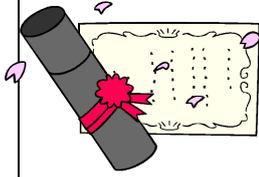


敬愛

甲斐市立敷島中学校
学校だより 30年度最終号
平成31年 3月25日
発行 長田 靖



おめでとう **赤**学年!

感動の卒業式…184名の旅立ち

春の陽光が降り注ぐ3月12日(火)、本校第72回卒業証書授与式が挙行されました。

在校生によりきれいに整えられた体育館には、儀式的行事にふさわしい厳粛な空気と、暖かな雰囲気が醸し出され、その中を184名の卒業生が巣立っていきました。卒業生と保護者の皆様、在校生、学校関係者、教職員の思いが結実した、感動的な式典となりました。お出でくださった来賓の方々が、帰り際に「すばらしい式だった」、「生徒の姿に感動した」などと口々に褒め

のことばを残してくださいました。

私は左の詩を引用し、そこにあるのが当たり前なものなどない、今までのものの見方を少しずつ変えてほしいと話しました。

また、保坂武甲斐市長様をはじめとするご来賓から、卒業生に向けて心温まるはなむけの言葉を頂戴いたしました。

『おくる言葉』での1・2年生の心がこもった呼びかけ・合唱、代表の長田さんの『たくさん大切なことを教えてくださった先輩方に、心から感謝の想いを伝えたい』という答辞も、しっかりと卒業生に届いていたと思います。

それに応えるように、卒業生が『別れの言葉』で呼びかけと合唱3曲(「大切なもの」「遠い日の歌」「河口」)を披露してくれました。

卒業生代表の関さんが読み上げた答辞、『迷

っていい、悩んでもいい。迷ったり悩んだりした時は、この敷島中学校での思い出、仲間との約束を思い出し、強く進んでいきます』は、力強い決意表明でした。卒業生は、“最後の授業”となった卒業式でも、本校の最高学年として下級生の手本となる姿を示してくれたのです。

卒業生の人生はこれからが本番。一人一人が自分の可能性を信じ、困難にめげず、失敗や挫折にへこたれず、未来に向かって歩を進めてほしいと願っています。



「水道のせん」

遠い谷間の取り入れ口も	水道のせんをひねると	水が出る
山の向こうの浄水池も	水道のせんさえあれば	
山の上の配水池も	いつ どんなところでも	
ここまでするね土の中を	きれいな水が出るものだというように	
はいめぐっているパイプも		
それらすべてをつくった人も		
いつさい関係ないかのように		



最後に成功すれば、挫折は過程にかわる…本田圭佑



平成30年度修了式

敷島中への温かな応援、ありがとうございました!

今日は3月25日(月)、平成30年度の最終授業日で、敷島中の1年を締めくくる修了式が行われました。代表の生徒を通じて1・2年生全員に修了証を渡し、次の学年への進級を許可いたしました。

昨年4月にスタートした平成30年度の諸活動が終わり、明日の離任式を残すだけです。本当に早いと感じます。この1年の授業日数は205日、多くの学校行事は天候に恵まれて実施できました。また、台風や大雪などの荒天、インフルエンザ等の感染症による休校などもなく年度を終わることができました。

この1年間、子どもたちの成長は目を見張るものでした。学校行事や部活動、日々の授業を通して、一回りも二回りもたくましく“敷中生”になりました。保護者の皆様も感動を共有される場面が多くあったと思います。ぜひ、これからも敷中を応援してください。変わらぬご支援、ご協力をお願いいたします。

また、保護者の皆様からはご希望やご意見を寄せていただきました。たくさんのご希望、ご意見は我が子を思えばこそ、裏を返せば学校への期待の表れであると前向きに受け止め、これからも連携して対応していきたいと思っております。

三	二	一	校
我らの敷島中学校	荒川流れ清らかに	平和の光身にあびて	小川
敬愛の念みがきゆく	明るい心たゆみなく	学びいそしむ若人が	正夫
時代のあらしのり越えて	我らの敷島中学校	朝夕仰ぐ富士が嶺の	坂口
世界の日本建設の	高き理想にあこがれる	使命を肩にはつらつと	五郎
朝日に匂う山ざくら	花なす文化うち立てる	我らの敷島中学校	曲 詞

誇れる敷中!校歌は学校の精神的支柱 いつも声高らかに♪

年輪誌にも書かせてもらったのですが、敷島中学校の校歌は一番から三番まであり、それぞれ最後は「我らの敷島中学校」で締めくくられています。

生徒たちや保護者の皆様、敷中を支えてくださる地域の方々が、そこへ通い・通わせることに、そこで学び・学ばせることに大きな喜びを感じ、敷中を自分たちの学校として誇りに思えるようにすること、それが学校を預かる者として強く目指すところです。

いろいろな面で、我らの“誇れる敷中”を目指し、これからも教職員一丸となって教育実践に努めて参ります。学校だより「敬愛」も、これが最終号となりました。生徒のがんばりや学校の様子、その時々のお情報をお伝えしたく、発行を重ねて参りました。拙い文章にお付き合いいただき、ありがとうございました。

生徒の活躍と皆様のご健勝、並びに敷島中のますますの発展を祈念しております。